



歌手への道

僕は幼い頃から今までの約15年間、歌手になりたいという夢を追い続けています。きっかけは、5歳の時でした。その時の胸の高まりは、今でもよく覚えて



柳島町
酒井 勇也さん

います。テレビの向こうで一人の歌手がスポットライトを浴びて魂を込めて歌う姿に全身が痺れました。その人は、今でも活躍している「長渕 剛」さんです。それから歌手になりたいと思い始めました。「いつかはあの時見た長渕 剛さんみたいになってやるんだ」と今でもその夢は諦めていません。だから、ギターを持ちサングラスをかけて、本人になりきっていました。ライブでもよくものまねをしました。

でも、このままでと絶対に将来先がないと思いい、「長渕 剛さんは一人でいいんだ」と自分に言い聞かせました。そして、次のライブから自分なりの歌い方を意識して臨みました。最近では、作詞・作曲にも取り組んでいます。でも周りの人たちはあまり聞いてくれない、鼻で笑うだけです。だから、その人たちから「いい曲だね」と言ってもらえる日が来ると信じ、日々努力しています。

僕は、これからも歌手になるという夢を実現するために、ソロとバンドで音楽活動を頑張っています。

いきたいと思います。4人のバンドメンバーとライブをやっていますので、応援よろしくお願いします。この阿南の町を音楽で盛り上げていきたい。将来は、バンドメンバーとともに徳島、そして全国でスターになりたいです。

次は、横見町の萩野将規さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市文化祭短歌大会 選

佳作

井坂 絹子
灼熱の陽をはね返す黄金の稲田広がり収穫を待つ

佳作

東明 貴美
テールブルの緑葉光るミニバラは紅く咲き初む

敬老の日に

佳作

井上 正恵
地熱まだあつき地面に落ちてなを朱の色鮮け

互選

長尾 久子
地球つつむ真蒼の空なり葉月尽オベの結果は吉と信ずる

互選

西條 悦子
老老の部屋も僅かの華やぎと桔梗にすすき一本添うる

互選

湯浅佐智子
渋滞を避けんと早朝帰りゆく娘に採りたての野菜積み込む

短歌のポスト

篠原 誠二
打たせの湯椿泊りの町並みは小雨の中に山すそかすむ

携帯のベルが鳴るたび貴男だと期待しながら取る電話

打富 律子

俳句

阿南市俳句連合会 選

ご予約の何もない日や山笑ふ

片山 幸美

隠り沼の伝説いまに継ぐ桜

平野 貞子

杉花粉涙涙のメガネふく

森岡 美風

花の昼伊万里の皿にいなりずし

佐々木八千代

新築の裁判所いま花の中

水口 明美

一句詠むことも息抜き種浸す

金本ひろみ

悠久の四国三郎春霞む

五光 春海

廃園に思わぬ出会い蕨摘む

近藤ヤス子

人生は頂きしもの涅槃西風

吉原 春水

駐在所ガラスコップに鼓草

岡久 玲子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑 選

甘口のカレーは母の愛で煮る

原 公美子

うっかりと眼鏡の上に腰下ろす

多田紀久代

年金の嵩で飛んでる狭い視野

野村 敏子

今日あつた命に感謝して眠る

橋本 征介

長所見るあなたの長所人が寄る

持木 寿栄